

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	プログラム言語論		
英文授業科目名	Programming Languages		
開講年度	2006年度	開講年次	3年次
開講学期	5学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	情報工学科		
担当教官名	千葉 雄司		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
programming_language@mail.goo.ne.jp	http://www.ise.chuo-u.ac.jp/ise-labs/doi-lab/link/chiba.html

【主題および達成目標】
実社会で役に立っているプログラミング言語について、その生い立ちからはじまり、なぜそう進化していったのかということについて、比較的広く浅く学ぶ。

【前もって履修しておくべき科目】
なし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし。

【教科書等】
基本的に講義資料。ただし宿題を解くのに色々なプログラミング言語のマニュアル、チュートリアルなどを読む必要があるかもしれません。

【授業内容とその進め方】
実際に手を動かしてプログラムを作ることを通じて、ああ、プログラムってこういうふうにも書けるんだ、ということを学んでもらいます。講義中に紹介するプログラミング言語は機械語、アセンブリ言語、LISP、Prolog、FORTRAN、C言語、Javaで時間に余裕があれば他のプログラミング言語についても取り扱うかもしれません。基本的に1言語あたり2回くらいの講義で紹介します。

電気通信大学 平成18年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

4回程度、プログラムを作ってもらった課題を出します。提出してもらったプログラムについて、バグの有無、インデントなどソースコードの美しさ、コメントがどれだけ打ってあるかなど、総合的に判断して採点をおこないます。試験はしません。ただしプログラムを作るのはそれなりに手間な場合もあります。全ての課題について、動作するプログラムを提出したにもかかわらず落第となることはありません(たとえコメントの未整備といった問題があったとしても)。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けません。講義の前後につかまえてくれてもよく、電子メールで質問をくれてもよいです。

【学生へのメッセージ】

運動するにはスニーカー、会社訪問には黒の革靴。山に行くなら登山靴。靴にも色々あるように、プログラミング言語にもいろいろあって、それぞれ得手不得手があります。この講義で、実体験を通じて「色々ある」ことを学んでください。

【その他】

この講義では広く浅く、色々な言語を紹介することを目的します。より深いところに進みたくなった人は、自習 or 講師への質問などにより自主的に補ってみてください。